

会議名称	平成26年度 第1回杉並区地域自立支援協議会
日時	平成26年5月19日(月) 13:30~15:40
場所	区役所西棟6階 第5・6会議室
<p>&lt;出席委員&gt;          高山由美子委員(会長)、小笠原みのり委員、金子めぐみ委員、大和田耕平委員、竹嶋美歩委員、          長野達也委員、清水豪委員、田中直樹委員、岡安容子委員、鈴木正道委員、春山陽子委員、          甲田潔委員、平田愛子委員、下田一紀委員、高橋和哉委員、</p> <p>&lt;欠席委員&gt;          神作彩子委員(副会長)、菊地英治委員、加藤恵愛委員、小野寺肇委員</p> <p>&lt;幹事&gt;          保健福祉部障害者施策課長：武井浩司          保健福祉部障害者生活支援課長：坪川征尋          保健福祉部杉並福祉事務所高井戸事務所担当課長：山崎佳子(欠席)</p> <p>&lt;事務局&gt;          障害者施策課：直井誠、目黒紀美子、藤井志乃、星野健、池田恵子(記録)          障害者生活支援課：長谷川比呂子</p>	
<p><b>【次第】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長挨拶</li> <li>3 報告             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員等の変更について</li> <li>(2) 幹事会より</li> <li>(3) 相談支援部会より</li> <li>(4) 地域移行促進部会より</li> </ol> </li> <li>4 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自立支援協議会の公開性について</li> <li>(2) 自立支援協議会本会と部会の今後の体制等について</li> <li>(3) 今年度シンポジウムのテーマについて</li> <li>(4) 平成26年度の自立支援協議会の取組について                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期障害福祉計画の策定に向けて</li> </ul> </li> <li>(5) 相談支援体制の現状について</li> </ol> </li> <li>5 区からの報告事項と質疑</li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol>	

## 【配布資料】

- H26 年度杉並区地域自立支援協議会委員・幹事一覧
- 資料 1 平成 25 年度第 3 回杉並区地域自立支援協議会で出された意見と課題整理
- 資料 2 傍聴に関するルールについて
- 資料 3 自立支援協議会のあり方についての現状と課題及び今後の対応について
- 資料 4 今後の杉並区地域自立支援協議会の運営と専門部会について
- 資料 5 26 年度の運営スケジュール
- 資料 6 杉並区地域自立支援協議会で出された課題及び現在の状況
- 資料 7 平成 25 年度旧委託及びすまいるの相談件数
- 資料 8 区からの報告事項（別冊資料）

## 【内容】

### 1 開会

省略

### 2 会長挨拶

今年度は第 4 期の後期の協議会となったが、メンバーの変更もあり改めて協議会の在り方の見直しも含め、これまでの課題を具体的に実現できるよう皆様のご意見をたくさん伺いたい。

### 3 報告

#### (1) 委員等の変更について

変更委員の紹介（杉並区障害者雇用支援事業団：長野氏、チャレンジ：高橋氏）

#### (2) 幹事会より

- ・資料 1「平成 25 年度第 3 回杉並区地域自立支援協議会で出された意見と課題整理」について、事務局より説明、報告を行った。
- ・知的障害者家族のオブザーバーから意見をうかがうことについて、委員の了承を得た。

#### (3) 相談支援部会より

- ・今年度の部会長は「支援センターすだち」下田委員、副部会長は「やどり木」修理氏と「チャレンジ」高橋氏の 2 名が担当する。新たに 3 事業所が参加して 29 名でスタートし、地域の中でのネットワークづくりをしていくことを確認した。
- ・前年度のまとめで、26 年度の相談支援部会の検討テーマが 4 つあげられており、ワーキンググループを作って活動を進めていくこととした。 高齢期の支援 重症心身障害児者のネットワーク構築（特に地域医療との連携） 障害者に対する住宅関連の支援 手厚い支援が必要な複合的な課題を有するケース（事例検討）の 4 グループに分かれて活動していく。
- ・ワーキンググループは年 3～4 回実施、2 月頃に全体会を実施し、ワーキンググループの具体的な報告をしていく予定。
- ・テーマごとのワーキンググループでの検討の中で必要な場合には、協議会本会委員の皆様にも各検討グループへの参加等について協力をお願いしたい。

#### (4) 地域移行促進部会より

- ・今年度の部会長は「すまいる菝窪」東内氏、副部会長は「支援センターすだち」佐藤氏、「堀ノ内ハイム（同愛会地域生活支援センター）」鈴木委員との 2 名が担当する。
- ・地域定着支援のサービスについて、今年度は杉並で利用している事例を検討し、課題を取り上げていきたい。課題は相談支援部会と絡む部分も大きいため、同時進行で今後の地域移行促進

部会の在り方を考えていく。部会は6月、9月1月に開催予定。

- ・資料1にある協議会本会委員の部会への参加を呼びかける具体的な方法は、事務局から呼びかけて集約することでよいか？

事務局から呼びかけることとする。

#### 4 議題

##### (1) 自立支援協議会の公開性について

- ・資料2「傍聴に関するルールについて」の内容を事務局より説明、確認を行った。
- ・検討事項として「個人情報の取り扱い」、「傍聴人数の設定」について意見交換を行った。

<意見等>

- ・介助犬や同行援護の事業者、車椅子利用者は会場にはいることができるのか？

どなたでも参加できる環境づくりをしていく必要はある。

- ・今日の会議室なら20人くらい入れるのではないかと？

区の会議室の利用の予約がとれず広い会場の確保が難しく、日程調整が困難な実情があるため、人数の制限はやむを得ないところがある。

- ・傍聴可能とした場合、区民等への周知方法はどのようにするのか？会場によって傍聴可能な人数を出すというのはどうか？

区の広報すぎなみは、締切がかなり前なので掲載は難しい。自立支援協議会の記録を区のホームページにアップするため、次回の傍聴について記録に掲載することとしたい。

- ・傍聴の人数は、会場の広さや対象者などに合わせて柔軟に対応できるように、事務局で整理をお願いしたい。

- ・(当事者委員に対して)協議会を傍聴してもらおう話が出ていますが大丈夫ですか？

大丈夫です。緊張するかもしれないけど大丈夫だと思います。

まずは次回(第2回)の本会から傍聴可とする方向で調整する。

##### (2) 自立支援協議会本会と部会の今後の体制等について

- ・資料3「自立支援協議会のあり方についての現状と課題及び今後の対応について」、資料4「今後の杉並区地域自立支援協議会の運営と専門部会について」の内容を説明、確認を行った。資料4については、裏面が第4期の最初に示した協議会のイメージ図、表面が現状からこれまでの流れを幹事会で整理した図となっている。

- ・幹事会で整理した図について、質問、意見ををお願いしたい。

- ・相談支援部会(常設)の下に個別支援会議だけが突出している感じがする。分かりにくいと感じる。

幹事会で整理した図は、特定相談支援事業所が増え、各事業所が開催する個別支援会議での課題が相談支援部会に挙がり、部会で抽出した課題をワーキンググループに返して取り組む形を表した。これまでの流れと大きな差はない。

- ・図示するのは難しいが、相談支援部会と個別支援会議のところはもう少し工夫できるのかどうか事務局に整理、確認をお願いしたい。

- ・専門部会についても確認したいので、ご意見をいただきたい。

- ・相談支援部会の中で一番課題になっている部分を専門部会にするとよいのではないかと。「相談

発信」でいけるとよいと思う。

- ・専門部会で取り扱うテーマの幅にもよる。相談支援部会の4つのテーマについては、必要としているテーマであり、喫緊の問題としているケースであるため、相談支援部会で議論を深めてから専門部会にしていくかどうか検討していくのがよいのではないかと。
- ・では、相談支援部会で議論を深めていただき「相談発信で」専門部会にしていくという流れで確認したい。
- ・専門部会については、常に就労支援が話題に出ている。雇用支援ネットワーク会議などとの関わりについてはどうか？
- ・障害者雇用支援事業団から本日席上配布されているパンフレット等の資料があるので、説明をお願いしたい。
- ・青いパンフレットは、ワークサポート杉並のパンフレットで事業や支援内容等が記載されているもの。ピンク色の冊子は「障害者就労支援事業推進プラン」(平成26年度～30年度)で、障害者の就労支援事業について掲載されているため、参考までに配布した。
- ・補足だが、推進プランについては平成26年度～30年度に新たに拡大される事業となっている。

#### (2) 今年度シンポジウムのテーマについて

- ・平成23年度から25年度までのシンポジウムの内容については当日配布の参考資料があるので確認いただき、今年度のシンポジウムのテーマについてご意見いただきたい。
- ・特別支援学校等を卒業後に一般就労や福祉施設に移行する時期と、高齢になり65歳で介護保険に移行する時期は、ライフステージを通して大きな転換点となる2つの時期である。この時期にどのような状況で課題があるのか等は、身近なテーマなのではないか。
- ・実行委員会はいつごろからスタートしますか？

夏ごろの予定。

- ・知的障害者の施設通所者に接したり、日常の診療でも感じていることとしては、保護者の認知症の発症が増えている現状があり、成年後見制度の利用については重要な問題である。
- ・シンポジウムではなくてもよいが、障害者権利条約のことはしっかりおさえておくことが重要だと思う。
- ・その通りですね。シンポジウムは1月～2月に開催予定なので、実行委員になる方は是非事務局にお申し出ください。事務局から実行委員についてお声掛けする場合はご協力をお願いします。思いついたテーマや、この人に話を聞きたい等の推薦もあれば事務局へお伝えください。8月末の次回協議会に向けた7月の幹事会で、内容を吟味していきたいと思う。

#### (4) 平成26年度の自立支援協議会の取組について

第4期障害福祉計画の策定に向けて

- ・資料5「26年度の運営スケジュール」について説明。今年度は自立支援協議会の活性化をとのご意見を受け、本会を年4回とした。計画への協議会の意見の反映には、スケジュール調整が必要となり、資料のとおり計画部会のスケジュールに合わせて協議会を開催する予定。計画部会のメンバーとして自立支援協議会の幹事会からの推薦と推進連絡協議会からの打診で声掛けさせていただき快諾していただいた。
- ・資料6「杉並区地域自立支援協議会で出された課題及び現在の状況」の内容を説明、再確認を

行った。

・資料5を見ると6月から計画部会がスタートするようですので委員の方々、よろしくお願ひします。計画部会で伝えてほしい意見があれば出していただきたい。

・マンパワーや社会資源の不足があり、放課後等デイサービスや移動支援についてもまだ足りていない。卒業後の進路先の定員の問題もあり、不安が高まっている。就労継続支援B型利用に向けたアセスメントの目的が不明瞭で、利用の仕方への不安がある。

・協議会の第1期からの課題をまとめていただいた。「すまいる」は2年目となり課題が出てきている。最近、相談件数が多いと感じていることは、一般就労している方で就労を継続できなくなっている方が増えているとうことがある。他のサービスを使っていない方が多いため、就労が減少していく部分の支援が必要となっている。高齢の障害者で「すまいる」で支援している人の中には、これまでサービスを使っておらず急に現れる方がいる。どうとらえていくかが課題である。

・計画部会はどのような内容ですか？

部会の人数は10名（自立支援協議会から2名）。保健福祉計画改訂の前に、区の総合計画、実行計画の改訂もある。卒業後の進路先の不安について意見が出されたが、いろいろなご意見をいただきたい。

・障害者も高齢化すると二次障害が出てくる。そういう事態にどう対応していくかを考えてほしい。「すまいる」が把握していると思うが、親が独自に持っている問題もあると思うので連合会にも報告していく。今まで想定していなかったことが出てくる。

・具体的にはどういうことですか？

・息子が骨折で入院、リハビリで受け入れてくれる病院がなく意思疎通できない人の受入れは不可と言われたことがある。退院してグループホームに戻り、訪問リハビリを受けられるようになったのでよかったが、想定していなかったことが起きた。

・高齢化の具体的な話はポツポツ聞く。福祉サービスと医療、障害福祉サービスと介護保険等、使い勝手の悪さへの対応についても計画に盛り込んでほしい。権利擁護や差別解消法、合理的配慮について事例のようなものを示してほしい。

・資料6に就労関係の課題として精神障害者に対応した就労の仕組みが必要とあるが、平成25年度は78名就労した方の66%は精神障害者である。短時間勤務、発達障害者の就労支援もしている。就労後の定着支援は、本人、家族、企業に実施している。高齢やけがなどにより就労できなくなった50代以降の方への受入れプログラム、リタイヤする人たちへの支援が必要となっている。

・障害福祉サービスから介護保険に変わる時の対応が難しい。本人、家族の高齢化は課題。5年ぐらい前に精神障害者を雇用したが、大きなつまづきが2度あった。シンポジウムのテーマにあったらと思う。

・安心サポートの事業をしている。就労してお金が使えとどう使ったらいいか勉強してきていない人が多い。お金の使い方について練習していく必要があるのでは。

・ピア相談員も高齢化しているので若い世代が必要。仲間とキャンプに行ったり、恋愛や結婚したいなど、人生を充実させたいと思っている。障害者は置き去りにされていると思う。自分は森

林浴ツアーの幹事をしたことがあり、役割を任されてうれしかった経験がある。自信や目的、目標を持たせてあげられる支援が必要と感じた。

・会（計画部会）に呼んでもらうことがないので緊張するが、できることをやっていきたい。作業所を30年やっているが、本当にそうだと思う、死にたいと思ったこともないが、楽しいと思っただけでもないと言った人がいる。利用者も高齢になるので、自分の法人ではケアマネをとれる人間は全員取りにしている。来年以降、生活困窮者自立支援法がスタートする。計画相談をやっている事業所がやれるといいが…。10名でやれることはやっていきたい。

#### （5）相談支援体制の現状について

・資料7「平成25年度旧委託及びすまいるの相談件数」について説明、確認を行った。旧委託相談支援事業所は福祉サービス利用が67%、すまいるは情緒安定が45%となっている。すまいるの3所とも精神障害者の相談がダントツに多い。どこにも繋がっていなかった人の相談が増えている。

・すまいる高井戸は知的障害者の利用が多いが、精神障害者の利用も増えている。緊急性のある相談も増えており、すまいるだけで留まらない方の相談も多い。今後の相談のニーズはもう少し確認していきたいところである。

#### 5 区からの報告事項と質疑

・別冊資料（区からの報告、情報提供）についての説明を行った。

・別冊資料7の「個別避難支援プラン作成」については、どうなっていくのか？利用者からの依頼によって作成することになるのか？

具体的には今後詰めていく予定。

#### 6 その他

・幹事、事務局の変更について（今年度変更職員の紹介）

#### 7 閉会

・次回日程 8月28日（木）13:30～15:30 区役所内会議室で開催  
次回から傍聴の希望を受け入れる体制をとります。  
申し込み方法の詳細はホームページ等でお知らせする予定です。

以 上